

# H27 アクションプランシート 事業 No. 6

## ①事業の基礎情報

事業名	受益者負担適正化事業 (使用料・手数料の見直し)	担当部・ グループ名	総務部 財務グループ										
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度	担当 GL 氏名	内田 徹										
新規・継続の別	<b>継続事業</b>	電話番号(内線)	52-1111(内線 305)										
総合計画(基本計画)体系	個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います	<table border="1"> <tr><td>款</td></tr> <tr><td>項</td></tr> <tr><td>目</td></tr> <tr><td>事業名</td></tr> </table> 予算措置なし	款	項	目	事業名						
	款												
	項												
	目												
事業名													
こんなことに取り組みます	市税収入など、自主財源の確保に努めます。	予算・事業上の											
みんなで目指すまちづくり	自主財源の額												
指標名	<table border="1"> <tr> <td>現状値 (H25)</td> <td>100</td> <td>実績値 (H26)</td> <td></td> <td>実績値 (H27)</td> <td></td> <td>実績値 (H28)</td> <td></td> <td>目標値 (H29)</td> <td>105</td> <td>(単位) 億円</td> </tr> </table>	現状値 (H25)	100	実績値 (H26)		実績値 (H27)		実績値 (H28)		目標値 (H29)	105	(単位) 億円	
現状値 (H25)	100	実績値 (H26)		実績値 (H27)		実績値 (H28)		目標値 (H29)	105	(単位) 億円			

## ②事業の概要

	何を・どうした(内容) ※箇条書きで簡潔に記載してください。	いつ
これまでの取組み	◆県内各市の使用料・手数料データを収集した。	H26.4
	◆使用料・手数料検討プロジェクトを設置した。	H26.4
	◆使用料・手数料検討プロジェクト(計5回)を開催し、「見直し方法等の検討」、「基礎データの収集」、「基本方針(案)の作成」をした。	H26.5～ H27.3
	◆部長会において、「基本方針(案)」の中間報告をした。	H27.3
これまでの取組みから 見えてきた課題 ・ 事業の必要性と 実施の背景	◇使用料・手数料については、平成 10 年度以降改定がされておらず、受益者負担の観点から、社会情勢の変化を踏まえた適正な見直しを行う必要がある。平成 27 年 10 月の消費増税に合わせて見直しを検討してきたが、国の動向の変化を踏まえて、改定の時期を再検討する必要がある(H28.4 と H29.4 の二段階又は H29.4 の一段階)。 ◇料金の見直しに関しては、使用料・手数料に係る原価の算定、受益者負担割合といった算定方法に係る意見を集約し、作業を進める必要がある。	
目的 (何をどうするために)	★「使用料・手数料見直し(改定)に係る基本方針」を策定し、使用料と手数料について、積算基準や定期見直しなどの一定のルールづくりを行い、適正な受益者負担に考慮した料金を設定し、自主財源を確保する。	
対象 (誰・何を対象に)	市民(公共サービスの提供により、利益の提供を受ける者)	対象の数量 46,373 人
最終目標  (どのような状態を目指すのか最終的に何がどうなれば達成か)	☆「使用料・手数料見直し(改定)に係る基本方針」に基づいた運用が定期的に行われ、必要な財源が確保されるとともに、市民間の公平性が確保されている。	
備考		

基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう
------	-----------------------------

### ③事業の工程表

事業年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業計画	主体 庁内検討プロジェクト	財務G・担当G		庁内検討プロジェクト
	実施 庁内検討プロジェクトの 設置・運営	最終調整		庁内検討プロジェクトの 設置・運営
	県内各市の調査結果の分析	基本方針 策定		
	「使用料・手数料見直し（改定）に係る基本方針（案）」の策定	使用料・手数料改定に向けての準備		
		条例等の改正	市民への周知	
			基本方針に基づいた運用	
			条例等の改正	市民への周知
			基本方針に基づいた運用	検証
				「使用料・手数料設定基本方針」の改定

平成 27 年度のアクション（今年度は何をするのか？）※箇条書きで簡潔に記載してください。

いつまでに（期限）	何を・どうする（内容）
H27.6	◆財務Gと担当Gにおいて、改定額等の最終調整を行う。
H27.7	◆「使用料・手数料見直し（改定）に係る基本方針」を策定する。
H27.9	◆「使用料及び手数料条例一部改正（案）」を作成する。
H27.11	◆新料金による平成 28 年度当初予算要求を行う。
H27.12	◆「使用料及び手数料条例一部改正（案）」議会上程（H28.4 から施行）
H28.3	◆新たな基準に基づく新料金の市民周知を行う。（広報、HP、各公共施設チラシ設置）

### ④事業にかかる事業費概要

事業年度	平成 26 年度	平成 27 年度（当初）	平成 28 年度（見込）	平成 29 年度（見込）
事業費総額(千円)	—	—	—	—
財源内訳	一般財源	—	—	—
	特定財源	国・県支出金	—	—
		その他	—	—
補助事業・単独事業の別	単独事業	単独事業	単独事業	単独事業

### ⑤事業にかかる事業費積算基礎

平成 27 年度	—
特記事項 (実施期間を通じて)	